



① 学士会館

昭和3年(1928)建造の「学士会館」は、外壁がスクラッチタイルで覆われた昭和初期流行の建築様式を保つ数少ない建物の1つ(国の登録有形文化財)。東京大学発祥の地、日本野球発祥の地、新島襄(にいじまじょう)の生誕ゆかりの地でもあり、敷地内にはそれらの石碑がある。館内には、重厚な雰囲気ながらリーズナブルなレストラン、婚礼会場、二重窓で都心とは思えないほど静かな宿泊施設を完備。映画やドラマの撮影も多く、「龍馬伝」「華麗なる一族」「SP」「ATARU」などのロケ地としても知られる。

03-3292-5936
千代田区神田錦町3-28



② けやき書店

昭和62年(1987)開業の「けやき書店」は、「文学好きにはたまらない品そろえ」で一目おかれる。芥川・直木賞作家、明治～現代の初版本や限定本、直筆書類、初出雑誌を扱う近代文学の専門店だ。特に太宰治、坂口安吾ら無頼派の初版本が充実。現在、活躍中の作家はサインの有無がポイント。同店によると村上春樹、京極夏彦、宮部みゆき、高村薫の署名本は特に人気が高く、さらに別格が金原ひとみ、綿矢りさ。目録は年4回発行。「本の発送先は自宅宛て、目録は一刻も早く見たいから会社に送って、という人もいますよ」(店主)

03-3291-1479
千代田区神田神保町1-9 ハヤオビル6F



③ 玉英堂書店

「玉英堂書店」は希少で優れた貴重な「稀覯本(きこうぼん)」の専門店。明治35年(1902)に本郷湯島天神下で古本兼貸本業として開業し、大正15年、神田神保町に移転。そして「オリジナルだけが持ちうる筆跡、装丁、紙質により作家が生きた時代に近づきたい」(店主)との思いで昭和55年、2階に稀覯本と自筆物の「特選ルーム」を開設。室町後期の源氏物語絵巻、良寛の書、司馬遼太郎の肉筆原稿など、文学史・美術史で知る名前がひしめく、密度の濃い光景だ。観覧自由。目録は年3～4回発行。

03-3294-8044
千代田区神田神保町1-1



④ 八木書店 古書部

創業は昭和9年(1934)、「八木書店 古書部」は上代から近現代までの日本文学を扱う。歴史的に極めて価値の高い本の影印本、近代文学の初版本や草稿、自筆物の充実が特徴だ。その一例、正倉院で千年以上保管されている文章を精密な写真と印刷、劣化の少ない中性紙で再現する「正倉院古文書影印集成」は研究者垂涎的。管理システムに先端技術の導入や、新刊書のバーゲンブック(特価本)など業界先駆けの取り組みでも知られる。年に2回、近代文学の魅力を深める特別講座を開催(参加無料)。目録は1月、10月の年2回発行。

03-3291-8221
千代田区神田神保町1-1



⑤ ボヘミアンズギルド

「ボヘミアンズ・ギルド」は、大正9年に池袋に開業した夏目書房の支店で、平成16年に神保町に出店。店名の由来の通り、「慣習にとらわれない自由奔放な芸術家たちの作品」を集める。1階は洋書や写真集、美術書が中心。2階は絵画や稀覯本、自筆物などが並ぶ。特に竹久夢二のオリジナルは100点以上。商品はすべて手にとって見ることができる。「古本屋にこんなものがあるのかと驚かれるようなものを置きたいんです。柱は「心地よくて楽しい」。書店はアミューズメント要素がないとネット注文で完結してしまう」(店主)

03-3294-3300
千代田区神田神保町1-1 木下ビル1F・2F



⑥ 明治大学

「明治大学」は明治14年(1881)、近代化の草創期に、30歳足らずの3名の青年法律家によって創立された明治法律学校が前身。「近代市民社会を担う聡明な若者を育てたい」との強い思いだった。学問・教育の場として幾多の困難に直面しながらも、大正9年、大学令により明治大学となる。建学の基本理念は「権利自由、独立自治」。自由と自治の精神を養い、「個」の確立を通じて近代化を図るべきとの本旨は、学部を増設にともない総合大学となった現在でも、「個を強くする大学」という理念へ継承されている。

03-3296-4082
千代田区神田駿河台1-1



⑦ ニコライ堂

日本最大の正教会聖堂「ニコライ堂」の建立は明治24年(1891)。当時、世界でも最先端の建築様式だったビザンチン・リバイバル建築として神田駿河台にその偉容を現した。高層建築のない時代、遠くからもよく見え、同教会は多くの文学作品に登場している。夏目漱石の『それから』にも描かれた「復活祭」(パスハ)は、深夜から未明にかけて祝われる正教会最大のお祭りで、今も毎年開催(実施日は要問合せ)。単なる文化財・史跡にとどまらず、日本正教会の中心として現在も活動を続けている。

03-3295-6879
千代田区神田駿河台4-1-3



⑧ お茶の水・井上眼科クリニック

井上眼科病院の創立は明治14(1881)年。初代院長井上達也は東京大学医学部助教授であったが欧州留学後、「済安堂医院」として眼科病院を創立。煉瓦造り4階建ての施設に最先端の医療設備を導入した。以来、眼疾患の治療とともに研究と教育にも力を注ぎ、わが国有数の眼科病院として歴史を築く。院内にある「目の歴史資料館」では、明治時代のカルテなど歴史的資料を展示。130余年を経た現在は、ユニバーサルデザインや先進医療の導入などにより、基本理念の「患者さま第一主義」を実践し、「『眼』の総合病院の確立」を目指す。

03-3295-0923
千代田区神田駿河台4-3 新お茶の水ビルディング



⑨ 小宮山書店

昭和14年(1939)開業の古書店「小宮山書店」は、ファッション、サブカルチャーから文学、哲学、心理学、歴史、宗教まで6フロアに分けて展示販売。特にヴィンテージ写真集や写真家によるオリジナルプリント、現代アート作品、三島由紀夫関係が充実。取扱いジャンルが幅広く、「フロアごとに面白い棚づくりをしているので、『何時間でも見ていて楽しい』と好評です」(店主)。毎週末に開催するガレージセールは掘り出し物多数。年に1～2回オールカラーのカatalogを発行。古本や絵画、プリントの買取も行う。日曜・祝日も営業。

03-3291-0495
千代田区神田神保町1-7



⑩ 源喜堂書店

和本から洋書まで美術全般を扱う美術書専門の古書店。ブックブラザー源喜堂と記された大きな看板はスポーツ用品店街の中で一際目立っている。店内には国内外の美術・建築・工芸・デザイン・写真関連書・展覧会のカタログなど、貴重なものからお手頃価格で手に入るものまで、選び抜かれた見た目にも美しい本たちがずらりと並ぶ。日本の60年代の美術書、オリジナルの写真集などは、海外からの引き合いも多い。同じビルの9階にある古書部では、古文書・名家肉筆書画・版画・短冊・色紙等を販売しており、年に1回は古書目録を発行している。

03-3291-5081
千代田区神田小川町3-1



⑪ 三省堂書店

明治14年(1881)、近代化への胎動の真っ只中に古書店として誕生した「三省堂書店」。全国で知られる大手書店の本店が神保町にある。本好きが集まる知の殿堂、その売り場面積は約1,000坪。本の町・神保町のランドマークとして豊富な在庫をそろえる。サービスカウンターでは店員が本探しを手助けしてくれる。巨大な"デパート"をぶらりと散策するもよし、プロの手を借りて探している本を一発探索するもよし、さまざまに楽しめそうだ。作家のサイン会、著者による講演会などイベント情報はホームページに掲載。

03-3233-3312
千代田区神田神保町1-1



⑫ 三茶書房

「三茶書房」は昭和23年(1948)に東京・三軒茶屋で開業、同39年より神田神保町に店を構える。初代は文学に造詣が深く、2代目店主は「同業者が酒を飲んでいるときも資料を見るのが楽しい」という歴史文献の目利き。価値ある未発表資料を発掘する醍醐味を味わう。明治新政府による第1回帝国議会が開かれた初代・国会仮議事堂は2カ月後に焼失、その幻の設計図2枚や、西田幾多郎と和辻哲郎の書簡3通などを膨大な古書資料の山から発掘し、報道で話題になった。明治～昭和の歴史文献が積まれた2階への入店は予約制のみ。

03-3291-0453
千代田区神田神保町1-1



選んだスポット



つながるスポット

Copyright(c) NPO 法人連想出版

